

# 生産性の高い桧積作業をめざして

付知営林署下付知貯木場 鎌田俊寛  
森本秋夫

## はじめに

貯木場の作業は、伐倒や集材作業を実行している生産現場から考えれば、地味な仕事であるが、運搬されてきた素材を適正に検知し、しかも新鮮材の供給、需要者のニーズにこたえた極積など常に販売意欲をもって付加価値の向上に努めているし、またこのことが貯木場作業に従事する者の使命であると考えている。

また一方では毎日行われている作業が、安全でしかも能率のあがる作業環境にするために、業務の改善、改良などお互いに知恵を出しながら積極的に努力している中で、今回次の三点について取り組み、所期の目的が達成できたので、成果を発表する。

## 1. 荷卸し盤台の作設

以前から貯木場業務に従事する者として、頭を痛めていた事項として次のような問題点があった。

- (1) 地表面がヘドロ状になるため検知や仕訳の能率が低下したり精度が落ちる。
- (2) リフトの走行にも支障があり極積作業能率が低下する。
- (3) 材面が汚れるため新鮮材供給という点からもマイナスになり有利販売に影響を与えている。
- (4) 貯木場が不清潔で美観を損うばかりでなく安全作業する環境上からも問題がある。
- (5) 病虫害の発生原因にもなる。特に梅雨どきなどひどい状態になる。
- (6) 当貯木場には木曽ヒノキ等高品質材が多くあり材質にも影響する。

などのため直営の職員実行により比較的材の搬入の少ない時期を利用して床掘作業以外について実行した。また工事は一期と二期に分けて下記のとおり実行した。

〈作業方法と実行内容〉

- (1) 場所……図-1のように土場の中央地点でリフトの移動、極積に便利な箇所とした。
- (2) 面積…… $12\text{ m} \times 31.5\text{ m}$  ( $378\text{ m}^2$ )
- (3) コンクリート舗装  
生コンクリートを購入し図-2のように割れ止め防止のため伸縮継手およびメッシュを入れた。
- (4) 総額……140万円

〈実行結果〉

材一本一本の取扱いが非常に楽で、曲り、節変の欠点が検討しやすく、また樹皮等のゴミは手造りのT型ゴミ集めで一箇所に集めてリフト、改良の一輪車による処理が非常にしやすく安全と能率性に役立ったと考える。

## 2. 巻立無線機の導入

桧積作業による事故を最近においても他局署で多く発生している事などから、私達は、どうしたら現在のような少人数で能率よく、しかも安全にできる作業方法はないかと考え、話合ってきたが、その中でも特に卸し盤台で検知、仕訳した後で、各桧に仕訳運搬する前に手元手から運転手、巻立手に同時に連絡する事で巻立手は以前のようにリフトが来てからその後について行くという非能率でなく、リフトが来る桧に前もって移動し待機することができ、又、桧上での作業の安全を確保する方法はないか、さらに冬期の運転手の防寒はできないかなどTBM、安全懇談会で意見がでて、無線機の導入をはかった。

〈導入内容〉

無線機……主1台（手元手）

補助機2台（運転手、巻立手）

性能……500m以内

価格……主、補とも一機5万円。

〈実行結果〉 図-3・4

各作業員間の連絡が遠方でできるため、前もって対応ができるため非常に能率よく、さらに桧積作業の安全が確保しやすくなった。

また運転手も暖房のため囲いがあるため検知手、手元手との連絡が確実にできてすべて余裕をもって安全作業ができる。

## 3. L型支柱の改良

径級の小さい人工林の桧積は各署においてもL型支柱を使用されているが従来のL型支柱は開いたり、折れたりする事があるので次のように改良した。

〈改良内容〉 図-5

- (1) レール……森林鉄道、電話線の支柱利用
- (2) 金額……1組 6,000円

溶接は請負でレール切断、その他の作業は職員実行。

〈実行結果〉

桧クズレの危険が全くなくなり、直に桧積するため、最近では小径木の検知も層積のため非常に計算がし易い利点がある。

〈まとめ〉

以上の三点について、今後さらに付加価値の高い、新鮮材供給のため、毎日の仕事の中で、全員が意欲的に取り組み、安全で明るい職場作りに努力して行きたいと考えている。

図-1 下付知貯木場現況表

貯木場の現況		要員の配属	
貯木場総面積	14,100㎡	主任	1名
貯材敷面積	7,960㎡	専務	1名
最大貯可可能量	4,800㎡	検知手	2名
		機械運転手	1名
		基幹作業員	1名

貯木場現況図

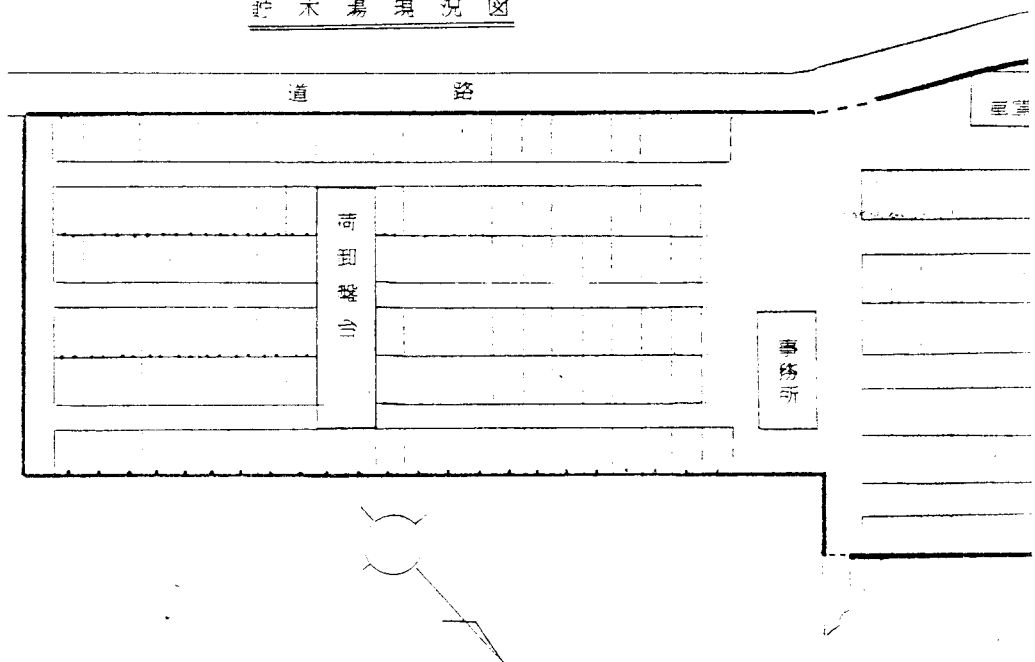


図-2 荷卸盤台構造図

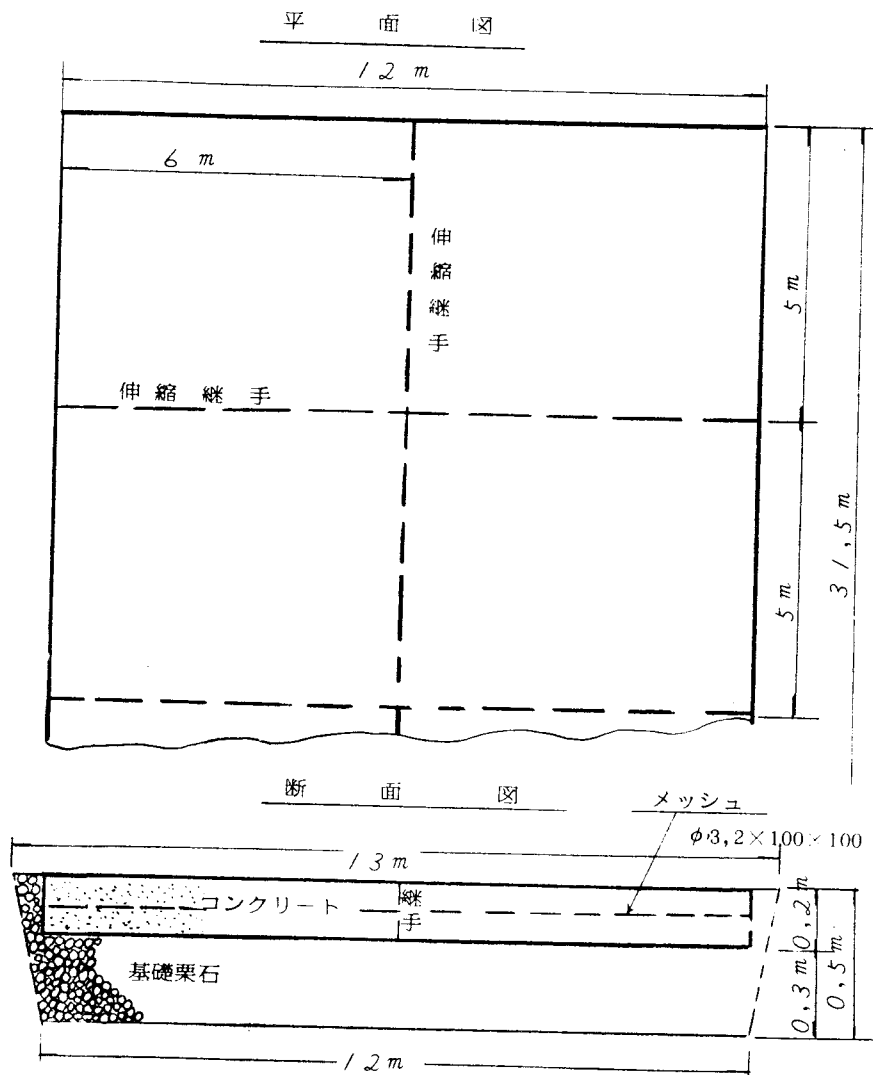


図-3 無線機による極積

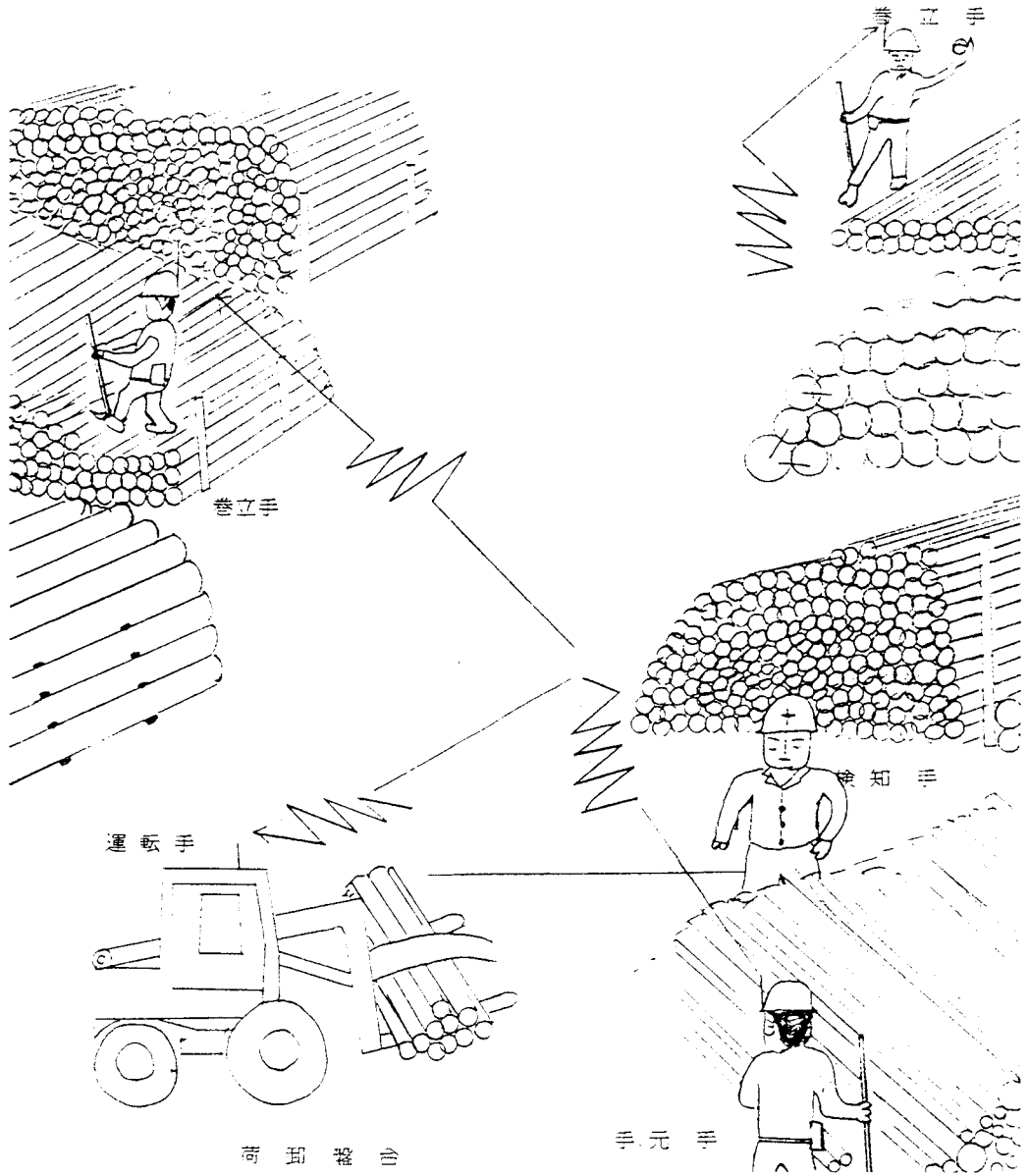


図-4 無線機による桟積

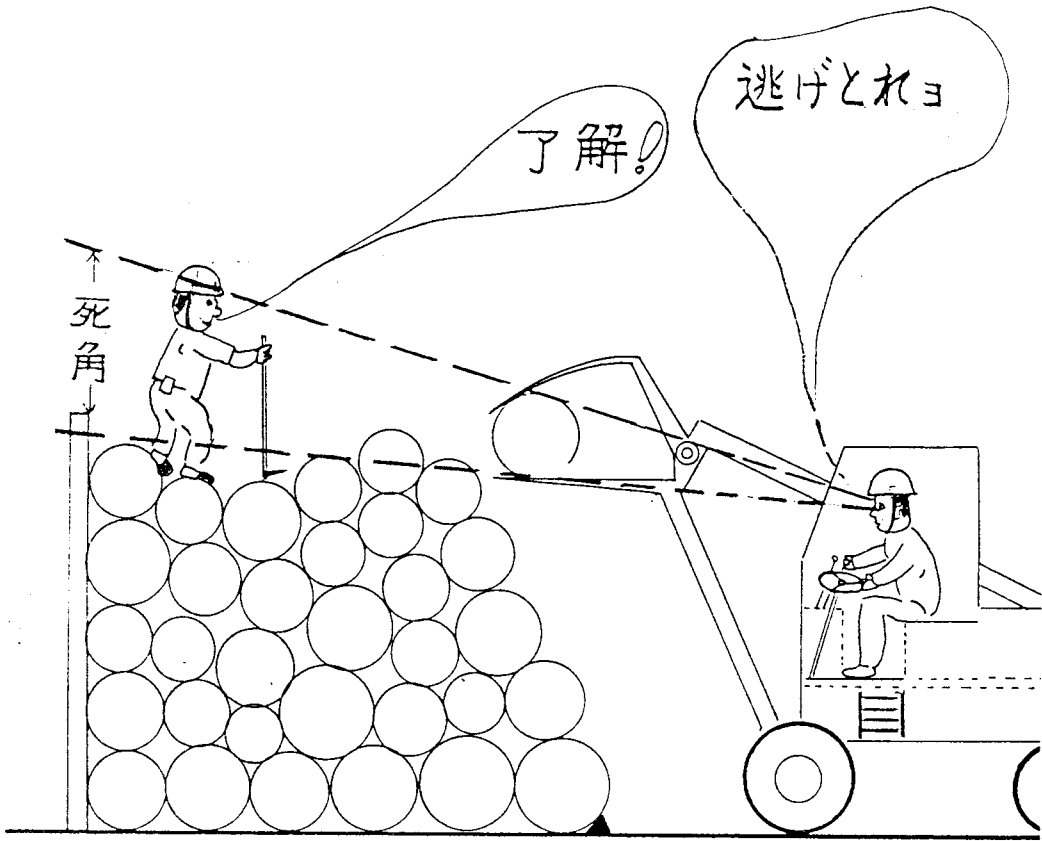


図-5 極崩れ防止L字構

